

県図なう。

令和4年1月15日
第130号（毎月15日発行）
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel：099-224-9511

鹿児島県立図書館
ホームページ

鹿児島県立図書館
フェイスブック

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。鹿児島県立図書館

ホットニュース 使って便利な「相互貸借」のサービス、ご存じですか？

「どうしても読みたい本があるけど、県立図書館に所蔵が無かった。」という場合は、相互貸借（そうごたいしゃく）というサービスを御利用いただけます。

相互貸借とは、図書館同士が所蔵している資料を貸し借りするサービスのことで、当館にお探しの本がない場合、全国の図書館から取り寄せて利用することができます。（ただし、送料負担が発生する場合や、相手館の事情で借りられない場合もあります。）

お求めの資料が図書館に未所蔵の場合は、カウンターでお気軽に御相談ください。所蔵館をお調べし、申込書を御記入していただいた上で、取り寄せいたします。借り受け条件は以下の通りです。

相手館	県立奄美図書館	県内の図書館 (鹿児島市立図書館を除く)	県外の図書館	国立国会図書館
郵送料	無料	基本無料 (送付条件によっては有料)	利用者負担(往復)	利用者負担(片道)
利用方法	館外貸出可	館内閲覧のみ		
借受期間	館外貸出後3週間	郵送期間を含めて30日間		

また、是非県立図書館に所蔵してほしいという資料がありましたら、「選書参考票」に記入し、提出してください。県立図書館の選書をする時の参考にさせていただきます。ただし、文庫本など対象外の資料もあります。

図書館で探そう、調べよう！

“雨滴声”（うてきせい）ってどんな意味ですか。

「禅の言葉である」とのことでしたので、まずは参考図書コーナーにある、禅に関連する辞典類を確認しました。

『新撰禅林墨場必携』（飯田利行/編著 柏書房）、『禅林名句辞典』（飯田利行/編著 国書刊行会）、『禅語辞典』（古賀英彦/編著 思文閣出版）、『禅宗辞典』（山田孝道/著 国書刊行会）の4冊を確認しましたが、見つけることができませんでした。以前にも禅の言葉を調べたことがあり、その時には、5文字の言葉の後ろの3文字だけで質問されたことがあったので、今回も同じパターンかもしれないと思いました。その場合、辞典で探すのは困難です。

そこで、何かヒントを得られないかとインターネットで“雨滴声”を検索したところ、「碧巖録」の「第46則」に「鏡清雨滴声」というものがあることがわかりました。内容は鏡清という和尚と僧の禅問答のようです。

そこから改めて資料検索で「碧巖録」を検索すると、いくつか資料が見つかりました。今回のお問い合わせは「意味を知りたい」とのことでしたので、内容が分かりやすい「現代語訳碧巖録」（克勤/著、岩波書店）『「碧巖録」を読む』（末木文美士/著、岩波書店）を御紹介しました。

インターネットを上手に活用することで、新たな手がかりを得ることができ、資料を御案内できた事例となりました。（その後、念のため先に調べた辞典を5文字で再度確認したところ、『禅宗辞典』には「鏡清雨滴聲 キャウセイウテキセイ」と記述があり、書き下し文も掲載されていました。）

《一般図書》 1月14日（金）

○ 『デジタル遺品の探しかた・しまいかた・残しかた+隠しかた身内が亡くなったときのスマホ・パソコン・SNS・ネット証券・暗号資産等への対応や、デジタル終活がわかる本』 伊勢田 篤史、古田 雄介/著 日本加除出版

○ 『何でもないことで心が疲れる人のための本「隠れ内向とつきあう心理学」』 榎本 博明/著 日経BPマーケティング

○ 『水俣 天地への祈り』 田口 ランディ/著 河出書房新社

○ 『世界「失敗」製品図鑑 「攻めた失敗」20例でわかる成功への近道』 荒木 博行/著 日経BPマーケティング

○ 『世にも美しい三字熟語』 西角 けい子/著 ダイアモンド社

《児童図書》 1月23日（日）

○ 『だいかぞく』 南 知里/作・絵 星雲社

○ 『しんばいながことがりすぎます！』 工藤 純子/作 吉田 尚令/絵 金の星社

○ 『富士山のむこう側』 岩崎 京子/作 小泉 るみ子/絵 文溪堂

○ 『飛べ！ 遺伝子を超えて』 森川 成美/作 森川 泉/絵 国土社

○ 『境界のポラリス』 中島 空/著 講談社

催し物の御案内

◇ 一般閲覧室ミニ展示
○ 『伝統の世界』展
展示中～1月30日（日）まで
お祭りに工芸品など、奥深い「伝統の世界」の本を紹介しします。昔から現代に伝わる思いを感じてください。
○ 『Let'sジャケ読み!？』展
2月1日（火）～2月27日（日）
美しい装丁やインパクトがある表紙の本を紹介しします。ジャケ買いならぬ、ジャケ読みをしてみませんか。
◇ 児童文化室ミニ展示
○ 『すみっこのほん』展
展示中～1月22日（土）
児童文化室の“すみっこ”にある意外な本を紹介しします。新たな発見があるかもしれません。
○ 『なりたい自分はどんな自分？』展
1月23日（日）～2月22日（火）
大きくなった時、どんな自分になりたいですか。お仕事の本や、いろんな分野で活躍する人の伝記を紹介しします。

図書館の本を探す際に使うのはOPACと呼ばれる検索システムです。この検索システムですが、ホームページと併せて、12月に新しくなりました。

児童文化室では、小学校で始まった英語教育の影響から、外国語で書かれた本の問合せがあります。資料が特定されているときは、所蔵のある・なしがわかりますが、「外国語の本なら何でも・・・」といった場合、見つけることは難しいです。そんなときは、リニューアルした検索システムのジャンル検索をどうぞご利用ください！児童文化室の「外国語の本」や「詩・短歌」が探せるようになりました。（ただし、そこから更に絞り込んで検索することはできません。）
【アクセス方法：蔵書検索＞ジャンル検索＞鹿児島県立図書館 場所で探す】
リニューアルして、新機能が増えたホームページや検索システムをぜひ御活用ください。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、福德秀介/著の『今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は』（小学館）です。

コロナウイルスのパンデミックにより、私の通う大学は二年近くオンライン授業が続いています。学校に行かないので誰とも話さない日もとても多く、新しい友達はほとんどできないまま大学生活の半分が終わろうとしています。そんな中で出会ったのが、「今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は」という本です。主人公の小西君が理想と現実のギャップの中で苦しみながらも必死に前に進んでいこうとする姿に、読んでいる私も勇気づけられました。色がなく、何の変化もないように感じていた日々が彩られ、少しだけ希望が見えたような気がしました。コロナ禍の私の気持ちを勇気づけてくれた、とても大事な一冊です。

図書館クイズ

にじいろのほん『おにたのぼうし』
あまんきみこ/ぶん 岩崎ちひろ/絵
(ポプラ社)からのクイズです。

ゆきのひに おにたが かぶっていた ぼうしは なにかな？
①むぎわらぼうし ②けいとんのぼうし
③コックさんのぼうし

ヒント
なつに かぶるよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、2月13日（日）までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「③ぼうしやさん」でした。
たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時
日曜日・祝日（白塗）：9時～17時

■ は、休館日
○ は、学習室と一般閲覧室の新聞・雑誌コーナーのみ開室
★ は、おはなしのじかん（毎週水曜日15時30分～16時）
◆ は、土曜版おはなしのじかん（第3土曜日 14時～）
◇ は、一般閲覧室新着図書の日（1月28日、2月15日【予定】）
□ は、児童文化室新着図書の日（1月23日）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。